

あさまセキュリティニュースレター

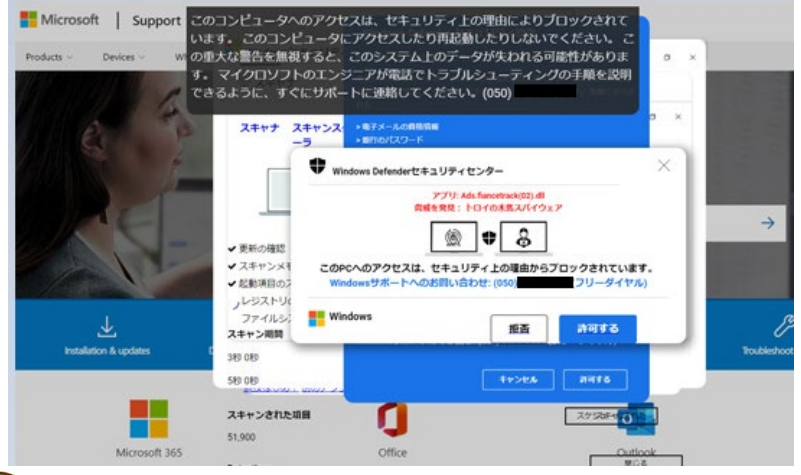
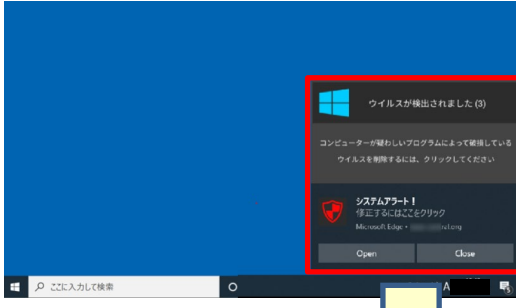


マイクロソフトなどを装った偽の警告にご注意

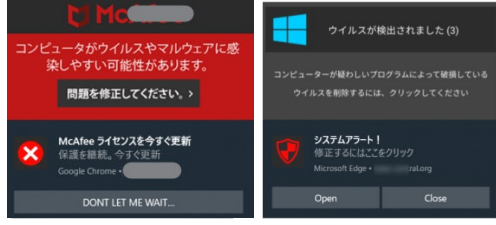
(2022年10月13日)

デスクトップ画面右下から通知表示

WEBブラウザ警告画面 マクロソフトを装う警告



偽の警告表示例



WEB閲覧時に、エラーが見つかった、ウイルス検知といった不審な警告表示が増えております。
安易に開いたり、OKをクリックせず、不審な通知内容でないか確認しましょう

攻撃のパターン

- WEB閲覧中、偽のシステム障害・ウイルス警告画面を出し、不審なサイトへ誘導
(実在するセキュリティソフトメーカーや、マイクロソフトを騙っているケースが増えていきます)
- 偽のセキュリティ警告によって有償の「ソフトウェア購入」や「サポート契約」をさせる
- メールアドレス、電話番号、クレジットカード情報などの個人情報を入力させ、情報を詐取

対策

- 偽の警告を表示させて、脅して製品を買わせたり、サポート料を請求する攻撃があることを知る
- WEB閲覧中、通知の許可を安易にしない(許可するURLを確認する)
- 表示された偽のサポート窓口へ連絡しない
- パソコンの右下隅からウイルスの警告が表示され続ける場合は、下記を参考にブラウザの通知の削除を



参考URL IPA安心相談窓口日より <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20210309.html>

情報源

- ESET サイバーセキュリティ情報局 https://eset-info.canon-its.jp/malware_info/special/detail/221011.html
- マカフィー <https://www.mcafee.com/ja-jp/consumer-support/help/support/block-fake-alert.html>
- IPA <https://www.ipa.go.jp/security/anshin/mgdayori20211116.html>